

4年クリーンセンター見学

令和5年10月3日
宮宿小学校
地域活動推進員 古田 雅子

9月13日に、寒河江市のクリーンセンターを見学。職員の方の案内で、施設の様子をわかりやすく説明いただきました。空き瓶の色分け、不燃ごみのチェックなどはすべて手作業でされているそうです。一番インパクトがあったのは、可燃ごみをかき混ぜる巨大クレーン。生ごみなど水分量が多いとゴミが燃えづらいため、混ぜることで水分が均一になるよう調整しているとのこと。家庭からゴミを出したその先に、たくさんの人の手がかかっていることを知るよい機会になりました。



大型クレーンで持ち上げては落とし、かき混ぜて水分量を調整しています。



ペットボトルは、圧縮・梱包装置でひとまとめにされます。



職員の方より、施設概要の説明



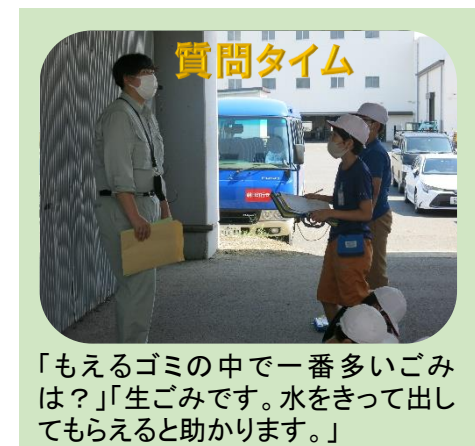
モニターで焼却炉の様子をチェックしています。



不燃ごみはひとつひとつゴミをチェックしているそうです。



行きと帰りの重さの差で、ゴミの重量を量ります。



「もえるゴミの中で一番多いごみは?」「生ごみです。水をきって出してもらえると助かります。」



磁石でくっつけばスチール缶、それ以外はアルミ缶、2種類あります。



瓶の色によって、何にリサイクルされるのか変わってきます。